

サイエンスフィールド

SF科学教室

12月の科学教室報告

参加者19名

今回のサイエンスフィールドちびっこ科学教室は、仮説実験授業「宇宙への道」を行いました。SFマンガの宇宙は隕石や宇宙船が飛び交い、なんだか賑やかなイメージで描かれていますが、実際の宇宙は空っぽで東京から長崎までを1辺とする立方体のなかにミツバチが3匹飛んでいるくらいの密度しかありません。もう圧倒的にガラガラで、まったく何もないと言った方が正しいイメージなのです。授業では紙芝居や巨大風船を用いて地球の大きさと形を学習し、続いて地球と月、太陽と太陽系の惑星、太陽系外の恒星…と広がっていきましました。途中で数字がたくさん出てきたので小さな子どもには少ししんどかったかも知れません。

後半は「わがままな日本列島」というカードゲームをしました。これは食物連鎖をテーマにしたカードゲームで、遊びながら絶滅危惧種のこと、捕食関係と生態系のバランスのことが学べるおもちゃです。使用方法がまだよく分からないので次回もやります。持ってきてください。

★★参加者の感想★★

●森永篤輝(年少)

ちきゅうがびっくりしました。ちきゅうが大きくて小さくてびっくりしました。たいようがすごくあちにあるのがすごかったです。ちかくじゃなくてよかったです。

●鈴木利里子さん(小1)

うちゅうのこのものんだいがいっぱいだったから、たのしかった。でも、むずかしかった。

●森永大樹(小2)

よくわからないところやわかったところがいっぱいありました。たいようがわかりやすかったです。わからなかったところは月です。どのへんにあるのかわかりません。

●安藤竣平くん(小2)

うちゅうと太ようのはばが広いとはじめてした。

●皆本真吾くん(小3)

エベレストがちきゅうにとって0.9mmなんて思ってもいなかった。一番深い海も1mmなんて思ってもいなかった。面白かったです。

●安藤果恵さん(小4)

宇宙はとても大きいことが分かった。

●加藤裕子さん(小4)

海王星やいろんな星の太陽からの距離が分かった。

●関場百香さん(小4)

地球から月までの距離が思ったよりとても長かったです。地球を130cmにすると世界一高いエベレストが0.9mmです。だったら私の家は虫めがねで見ても分からないと思います。



●小松(小4)

宇宙の話がおもしろかった。

●國政友佑くん(小4)

太陽から地球まで歩いていくと千年ぐらいかかることに驚きました。

●中村 遥さん(小4)

宇宙のことがよく知れて良かったです。また、やりたいです。

●丸井拓哉くん(小4)

今日の宇宙の勉強で、ぼくは地球よりも太陽の方が大きいということは知っていたけど、100倍も大きいってことは知らなかったです。

●竹内 均くん(小4)

地球をふくらませた時、割れると思った。昔の人は大地を平らだと思って、端にいくと滝になっていると思っていたことが分かった。

●永谷圭吾くん(小5)

1億分の1の大きさで地球と月は4mも離れていた。13cmの地球とピンポン球の月と14mの太陽の大きさが激しかった。そして、光の速さで行くと地球を1周するのに約0.1秒しかかからないとは知らなかった。フィギュアもリアルだったし、カードも良かった。またやりたい。

●難波佳祐くん(小5)

いろいろな星の太陽からの距離が分かって良かったです。昔の人は地球は平らだと思っていたと聞いて、少し笑えました。また来たいです。

●永田 誠くん(中1)

カードはまだよく分からないけど楽しかった。いろいろ分かった。

●岩藤竜飛くん(中2)

宇宙のいろんな星までの距離や大きさがよく分かった。カードはルールが分かったような分らなかったような感じだった。

●安藤 瑞くん(中2)

宇宙の大きさがよく分かった。今までは宇宙は隕石などがたくさん飛んでいるのかと思っていたが、意外とスカスカしていることが分かった。

●高岡竜也くん(中2)

宇宙についてよく分かりました。もともと宇宙に興味があったのでよかった。宇宙はとてつもなく広いということが分かった。



[1 月 の 予 定]

日 時 平成19年1月13日(土) 10:00~12:00

内 容 「ビリッとびれる静電気の科学」

・ご都合がつかない場合には、欠席連絡をしてください。

E-mail fwkc2570@mb.infoweb.ne.jp

Tel&Fax 086(253)5371